

2014 年度 暮らしと環境研究委員会

1. はじめに

本研究委員会は、一昨年度から『原発事故から見た放射線の人・環境に与える影響』の何を、どのように教えるかをテーマとして研究・教材作りに取り組んできた。

本年度は、過去2年間の研究成果を補完するべく引き続き研究・教材作りに取り組むとともに、原発問題に限らずさまざまな災害の被災者の人権を考えていくことを目標に、活動を始めた。

原発事故、あるいはその他の災害にまつわって、様々な人権侵害が生じている。我々はそれらの災害の実状を知らずしてそれにまつわる人権侵害の実態を知ることはできない。それらを検証し、整理し、生徒たちに伝え、ともに考えていければと考えている。

その目標のもと、放射能・放射線が人体、地球環境に及ぼすもの、さまざまな災害の復興に向けて取り組むべきこと、それにまつわる人権侵害をどう克服すべきか、広く研修を積むとともに、「なかまとともに」に素材提供する新教材として「核のゴミ問題」、「避難所の生活と人権」の2つの指導案・教材作成に取り組んできた。

「核のゴミ問題」について

原発事故による放射能・放射線漏洩だけが問題なのではなく、正常に稼働している原子力発電所からも、使用済み核燃料、放射線を帯びた物体をどう処分するかが大問題になっている。それらを地下深くに埋めることの他、いくつかの方法が世界中で模索されているが、どの方法を採用するにしても、増加する一方の使用済み核燃料を処分するための予算の問題、現在考えられている方法のどれもが完璧な方法ではないこと、また、使用済み核燃料が完全に放射線を放出しなくなるまで最長 100,000 年かかること等、問題は山積している。この実態を知り、この問題について考えていく。

「避難所の生活と人権」について

東日本大震災・津波・原発事故に限らず、災害後の復興には長い時間がかかる。その間、衣食住をはじめとして、人間らしい生活をどう取り戻していくか、考えていかなければならないことは無数にある。

本教材では、「避難所の生活」に焦点を当てた。狭く、設備の整わない避難所での生活を始めた当初は我慢できたことも、生活が長引くうちに、不十分な設備、プライバシーを保てない生活、ストレスがたまり、人間関係も悪化していく。この状況で、避難所の実態を知り、どう人権を守っていくか考えていく。

2. 取り組みの経過

5月16日(金) 総会後の打ち合わせ

(県人権センター)

- ・座長の選出、活動方針の検討

5月30日(金) 第1回研究委員会

(橿原市中央公民館)

- ・今年度の活動方針、計画の検討、決定

6月20日(金) 第2回研究委員会 (櫃原市中央公民館)

- ・福島現地報告(研究委員会メンバーより) 現地視察の報告と意見交流

※内容の詳細は2013年度研究実践レポートに掲載済み

- ・「新教材」テーマ・内容について検討

9月19日(金) 第3回研究委員会 (櫃原市中央公民館)

- ・「新教材」内容について検討

- ・DVD視聴「放射性廃棄物」、意見交流

※DVD「放射性廃棄物」: 数十万年にわたり放射能放射線をまき散らす核廃棄物。その処理方法が定まっていない実態を報告するドキュメンタリー映画。2009年、制作国フランス、配給 竹書房、92分。

10月17日(金) 第4回研究委員会 (櫃原市中央公民館)

- ・奈良県被災者の会の方々と「被災者の会」の方々の体験談、思いを聞き、意見交流

※内容の詳細については、研究実践レポートに掲載予定

- ・「新教材」内容について検討

11月28日(金) 第5回研究委員会 (櫃原市中央公民館)

- ・「新教材」内容について検討

1月9日(金) 第6回研究委員会 (櫃原公苑本館)

- ・「新教材」内容について検討

3. 今後に向けて

3年間、原発問題に取り組んできて、一定の成果を収めたと自負している。東日本大震災・津波・原発事故は凄まじいものであった。その内、原発事故に伴う放射能・放射線漏洩がどれだけ危険なことか、今までの研究を発展させることができた。凄まじい実態を知り、我々は何を為すべきか、我々に何ができるのであろうか。

また、原発と放射能・放射線の問題については、事故後4年経過して収束をむかえるはずはなく、むしろこれから放射能・放射線が人体・地球環境にどんな害を及ぼすのか、明らかになっていく。予想されていることもあるし、想定外の事態も生じるであろう。

本研究委員会では、今後の課題として、

- ・上記の問題も踏まえ、来年度も引き続き「原発事故から見た放射線の、人・環境に与える影響」を研究していく
- ・「原発問題」以外にも広く「環境問題と人権」を研究していく

以上2点を考えているが、両方並行して取り組めるのか、どちらか1つに研究課題を絞るべきか検討中である。